



2004年11月

衛星リモートセンシング推進委員会  
漁業・水産ワーキンググループ

独立行政法人宇宙航空研究開発機構  
財団法人リモート・センシング技術センター

## はじめに

魚は 21 世紀を担う子どもたちの大好物です。ある出版社は小学生 2, 400 名を対象に、何がもっとも好きな食べ物かについてのアンケート調査を実施しました。驚くことに小学生 3 年生から 6 年生までが、その第 1 位に「すし」を上げています。10 年前の王者「カレー・ラーメン」は、そのタイトルを奪われてしまいました。刺し身も 10 位以内に入り込んでいます。

しかし、その魚がどのような海で漁獲され、また海の流れがどのようなになっているのか、あまり理解されていません。なぜなら、海はその全体を見ることができないからです。最近、宇宙飛行士がスペースシャトルに乗って海を見ていますが、異口同音に「青かった」と言います。それは地球の色でもあるのです。

近年、人工衛星の地球観測により海水温や水色の違いによる海の様子が明らかになってきました。このことによって魚のいる場所も推定しやすくなってきました。

これまで漁業・水産の分野では、衛星画像が積極的に活用されておりますが、漁業者を対象とした衛星画像の利用方法を取りまとめたマニュアルについては、作成された事はありません。

そのため、人工衛星の画像を各分野の業務に利用して頂く為の方策を検討する、宇宙航空研究開発機構の委託により設置された「衛星リモートセンシング推進委員会」の「漁業・水産ワーキンググループ」では、漁業・水産分野での衛星画像の利用拡大の一環として、漁業者を対象とした衛星画像の利用方法に関する簡単なマニュアルをまとめました。

さて、このマニュアルは、新しく漁業を担いたい若人のために書かれたものです。また、勘と経験のみの漁業から、新しく宇宙リモートセンシングを始めてみようとする漁業者の方々のために作成されました。

2004 年 11 月  
衛星リモートセンシング推進委員会  
漁業・水産ワーキンググループ  
主査 為石 日出生

水産分野での衛星画像利用マニュアル  
目次

はじめに	1
1. 宇宙から魚を見つける技術	2
2. 漁業での衛星画像の利用方法	
2 - 1 概要	7
2 - 2 紀伊半島における春季カツオ漁場	12
2 - 3 鯉・鮪（ビンナガ）竿釣漁業	13
2 - 4 マグロまき網漁業（近海）	18
2 - 5 カツオ・マグロまき網漁業（海外まき網漁業）	21
2 - 6 イカ釣漁業	24
2 - 7 イワシ・アジ・サバまき網漁業	29
2 - 8 サケ・マス流網漁業	31
2 - 9 赤潮の発生について	35
3. 衛星画像のサービス機関	
3 - 1 宇宙航空研究開発機構	38
3 - 2 （社）漁業情報サービスセンター	42
3 - 3 愛知県水産試験場	46
3 - 4 三重県科学技術振興センター	48
3 - 5 和歌山県農林水産総合技術センター	50
3 - 6 愛媛県	52
3 - 7 福岡県水産海洋技術センター	54
3 - 8 千葉県水産研究センター	56
4. インターネット等を利用して衛星画像を見る方法	
4 - 1 家庭のパソコンで見る方法	58
4 - 2 漁船に搭載したパソコンで見る方法	59
4 - 3 携帯電話で見る方法	60
4 - 4 FAX で見る方法	61
付録1 水産分野に関する衛星画像提供機関	63
付録2 FAXにて水温情報を配信している機関	66
付録3 本編に関連する主な魚種	67
付録4 水産分野での衛星画像利用マニュアル用語集	70
あとがき	73
衛星リモートセンシング推進委員会漁業・水産WG名簿	74